

# 季刊せいいてん no.132

2020 秋の号

●浄土真宗聖典の学習誌●



こんな時だからこそ  
〈伝道〉を考える



江戸時代の庶民的な仏教書とお説教 / 江戸時代の法座 幸せてなんだろう / パンデミック『唯信鈔文意』 / 虚仮不実の私 『蓮如上人御一代記聞書』 / 水の中に籠をつける

No.132

季刊

せいてん

2020.9.1 (秋の号)

特集

こんな時だからこそ 〈伝道〉を考える

- 「一番大事なことを伝える」…………… 瓜生 崇 3  
「遊びでやってるわけじゃないんです。」…………… 松崎智海 46  
「されど掲示板—掲示伝道の可能性」…………… 江田智昭 50

はじめの一步Ⅰ **新連載**

江戸時代の庶民的な仏教書とお説教

- 江戸時代の法座…………… 和田恭幸 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学⑮

- パンデミックと看取りの無い世界…………… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』⑪ 虚仮不実の私…………… 安藤光慈 22

せいてん誌上講演

『蓮如上人御一代記聞書』③

- 水の中に籠をつける—念仏の中の生活…………… 稻城選恵 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院 ⑦

- 「日本人の見たアジャンター④」…………… 打本和音 40

せいてん茶道教室 (終)

- 「茶道と型」…………… 清基秀紀 54

法語随想 ③

- 「慈眼をもつて衆生を視そなはすこと……」… 武田一真 56

読者のページ せいてん質問箱⑤

- 「『大経』っていくつもあるの?」…………… 壬生泰紀 58

人ひとみな ニュートラルな考え③

- 「理想の実現は難しい」…………… 朝倉行宣 63

念仏者はいま 龍谷大学名誉教授・中垣昌美さん

- なぜ、今、老いを問いなおすのか②…………… 64

西の空 心に響くことば

- 木の上…………… 榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

# 幸せってなんだろう

— 悪人正機の倫理学 —

## 第15回「パンデミックと看取りの無い世界」

総合研究所副所長 藤丸 智雄  
ふじまる とも お



大学の倫理の講義で、七年間ほどパンデミック（感染症の世界的大流行）を扱ってきました。というのも、パンデミックは、人間の生き方や考え方、価値観を大きく変えてきたからです。

今回の新型コロナウイルスのパンデミックで、何がどのように変わるのでしょうか？パンデミックがもたらす倫理的な問題について考えてみたいと思います。

（イラスト 瓜生智子）



## 現代社会とパンデミック

現代社会の基本に「功利主義」があるということについて、この連載の中で、お話ししてきました(123、126号)。

そして、その背景に、パンデミックがあることについても触れました。産業革命の時代に、人口が都市に集中し、そのことが感染症拡大の原因となりました。

そこで衛生面の改善を主要なテーマとして、「最大多数の最大幸福」というメッセージを掲げて、功利主義が登場し、現代社会にも影響を与え続けているのです。

## 感染症と宗教

人類を苦しめた感染症の一つにペ

ストがあります。ペストを描いた作家というと、ノーベル賞作家のアルベール・カミュ(一九一三―一九六〇、フランス)を思い出す方が多いと思います。

ただカミュは二十世紀の人です。

中世のペスト禍を実際に経験して書かれたものに、ダニエル・デフォー(一六六〇―一七三二、イギリス)の『ペスト』があります。あまり馴染みのない作家かも知れませんが、『ロビンソン・クルーソー』に胸躍らせた方は多いと思います。その作者がデフォーです。

さて、デフォーの『ペスト』では、ペストが宗教不信をもたらしただけが描かれています。

牧師たちは会衆の心に、死の心配をいやというほどたたき込み、その恐怖心をかきたててこそすれ、

神に向かつて恵みを求めることを教えようとはしなかった。

まだノミが媒介するペスト菌によって感染すると分かっていた時代。牧師が人々の不安を掻き立てたと言われています。また、

非国教派のもっとも優れた牧師、説教者の多数の者が、悪疫みくえきの流行に耐えきれないで聖職者の逃げ出した(その数はじつにおびただしいものであった)英国国教会派の各教会に自由に入入り、することが許されたのである。と聖職者がロンドンから逃げたまま、宗教者への不信が広がったと書かれています。

このようにパンデミックは宗教にも影響を与えます。今回も宗教者の行動が問われている面があるように私は感じています。



## 「超過死亡」は、なぜ起きたのか

さて、今回の新型コロナウイルス（以下、コロナ）に話を戻しましょう。コロナの感染が最初のピークを迎えた四月頃、「超過死亡」が話題となりました。実際に増加したかは別にして、コロナへの対策が、病院や老人向け施設で実施されるようになった頃から、厳しい事態が聞かれるようになりました。

三月初旬。門徒さんから「夫は私がいないと、あまりご飯を食べないので、心配です」という相談がありました。この頃、コロナの感染が問題となり、病院や老人ホーム、介護施設でお見舞いが禁止になり、家族でも会いに行けなくなっていたのです。

推測ですが、家族や親しい人のお

見舞い・看病がなくなり、病状が悪化した方、体調が悪化した方も多くなったのではないのでしょうか。

四月、ご相談を受けた門徒さんからも訃報ふほうが届きました。

### 失われた看取り

ほとんどの方が病院で亡くなるのが現代の特徴です。

そのため、コロナの影響で病院に入ることが厳しく制限され、最期を看取みとることができなくなりました。パオロ・ジョルダノ『コロナの時代の僕ら』には、

僕たちが―愛する者に看取つて

もらえず、寂しく死ぬことにな

るかもしれないなんて。しかも、

葬儀は音ひとつせず、立ち会っ

者ひとりいないかもしれないな

んで、誰が想像していただろう。

（「コロナウイルスが過ぎたあとも、僕が忘れたくないこと」）

とイタリアの状況が書かれています。

コロナが蔓延まんえんした地域では、コ

ナで亡くなる人は勿論もちろんのこと、その

他の病気の方でも、病院での看取り

が困難になりました。死者数ばかり

が話題となっていますが、死を迎え

る状況の変化も重要な問題ではない

かと感じています。

### 失われた言葉についで

看取りが失われたために、言葉も

失われました。

例えば、

「息子が到着したのを待って亡くな

りました」

「最期は穏やかな顔でした」

# 季刊せいてん

## バックナンバーのご案内 (在庫分)

### 100号を記念しての特別号



●表紙写真●燃灯仏授図  
(バゼクリク千仏洞)

#### 101号の主な内容

#### ☆ビジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～

インド・西域・中国・朝鮮半島・日本編 丘山 新  
これまで表紙解説のコーナーでたどった仏教伝来の道を、新たに美しい写真とともに旅しました。インドから日本に伝わった仏教の大きな流れを知ることができます。

#### ☆「入門講座」・「聖典セミナー」プラス

観世音・大勢至一七高僧にちなんで 黒田 覚忍  
「私にとっての仏教」その後 浅田 正博  
親鸞聖人へのアプローチ 山田 雅教  
その心すでにつねに浄土に居す 森田 眞円  
『観無量寿経』のころ 徳永 一道  
『尊号真像銘文』のころ 白川 晴顕  
『一念多念文意』のころ 内藤 知康

今まで「入門講座」「聖典セミナー」をご担当いただいた先生方に、現在の味わいをご執筆いただきました。



表紙  
●特集「自死と念仏者」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)  
「顕如と教如(中)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう④(藤丸智雄)  
「嘘は悪なのか?」
- 聖典セミナー  
「歎異抄」(終)(矢田了章)  
「後序—たまはりたる信心」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「善導大師③ 仏様に認められて生きる」
- もう1人の親鸞④  
「玉日娘と恵信尼さま」(黒田義道)

121号(冬の号)2017年12月1日



表紙写真  
●ポロブドゥール(18)(インドネシア)

- 入門講座  
はじめて学ぶお釈迦さまのご生涯⑥  
(内藤昭文)  
お釈迦さまの晩年とその後
- 聖典セミナーI  
一枚起請文③(高田文英)  
浄土真宗の生命
- 聖典セミナーII  
御俗姓②(佐々木隆晃)  
親鸞聖人の御遺訓
- 聖典セミナーIII  
仏説阿彌陀経⑤(満井秀城)  
証誠段・流通分

100号(秋の号)2012年9月1日



表紙  
●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)  
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー  
「唯信抄文意」①(安藤光慈)  
「他力信心の法義」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「善導大師④ 阿彌陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤  
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号)2018年3月1日



表紙写真  
●チベット仏教(1)

- はじめの一步I  
親鸞聖人の人間像①(山田雅教)  
「妻がつづった親鸞聖人の素顔」
- はじめの一步II  
現代人と宗教①(福永俊哉)  
「宗教と学問」
- 聖典セミナー  
「御文章」①(高田文英)  
「聖人一流章」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」①(梯實圓)  
「ご恩に報いるために」
- サンカしよう  
「讀仏偈」①(若林真人・山口篤子)

102号(春の号)2013年3月1日

127号(夏の号)2019年6月1日

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)  
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)  
「(いつの間にか)の倫理」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)  
「誰もえらび捨てない救い」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「法然聖人(3) 回心の内景」
- ほとけのいる景色②  
「千年の閨室」(打本和音)



表紙 ●特集「ふりかえる平成の議論 新説 新発見」より



表紙 ●特集「お盆、その前に」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)  
「弁円」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)  
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)  
「名号の撰化」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「源信和尚(1) 日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥  
「枕石の物語」(黒田義道)

123号(夏の号)2018年6月1日

128号(秋の号)2019年9月1日

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑦(井上見淳)  
「善信房親鸞(二)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう①(藤丸智雄)  
「不安と倫理」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」⑦(安藤光慈)  
「救われるのは誰か」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「法然聖人(4) 善悪を超えた世界」
- ほとけのいる景色③  
「石窟の条件」(打本和音)



表紙 ●特集「詳しく学ぶ二河白道のたどえ」より



表紙 ●特集「(名人)たちの聖典」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)  
「金子大榮(上)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)  
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)  
「(自)であらわされる他力」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」③(梯實圓)  
「源信和尚(2) 仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦  
「一切経校合」(黒田義道)

124号(秋の号)2018年9月1日

129号(冬の号)2019年12月1日

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)  
「善信房親鸞(三)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう②(藤丸智雄)  
「(生きがい)から考える善悪」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」⑧(安藤光慈)  
「さとり性質—二種法身」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」(終)(梯實圓)  
「法然聖人(5) 深く信ずる心」
- ほとけのいる景色④  
「日本人の見たアジャンター①」(打本和音)



表紙 ●特集「[歎異抄]と私」より



表紙 ●特集「(空)がわからない」より

- はじめの一步I  
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)  
「金子大榮(中)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)  
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)  
「(今)の救い」
- せいてん誌上講演  
「正信偈」④(梯實圓)  
「法然聖人(1) 父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)  
「親鸞聖人ご臨終の言葉」(黒田義道)

125号(冬の号)2018年12月1日

◆『季刊せいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)

●これまでの主な特集記事●

- No. 100……100号記念 勸学和上に聞く  
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓  
②聖典編纂事業と『季刊せいてん』  
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No. 102……飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構が否か
- No. 121……自死と念仏者
- No. 122……わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ
- No. 123……お盆、その前に
- No. 124……(名人)たちの聖典—存覚・從覚・円如—

\*「季刊せいてん」誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは  
本願寺出版社

0120-464-583  
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
1冊 700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくはコンビニエンスストアで料金を払い込みください。

連載 クローズアップ

《せいてん誌上講演》「正信偈」

102号~129号

梯 實圓

本願寺の碩学、故・梯實圓和上による「正信偈」の講演録です。親鸞聖人のみ教えの結晶ともいえる「正信偈」をやさしくご講演いただいています。梯和上の警咳に接しているような臨場感にぜひふれてください。



# 季刊せいてん 定期購読のご案内

\*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

\*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、  
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込みは↓・

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753  
よむよ ごわさん  
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

## 編 集 後 記

◆新連載の「はじめの一步I」は  
いかがでしたでしょうか。和田恭  
幸先生によれば、江戸時代のお説  
教には「信仰」「学び」「娯楽」が  
同居していたそうです。これは個人  
的には理想の布教のあり方であり、  
本誌もそんな雑誌を目指しています。  
これからどんなことを教えていただ  
けるのか、楽しみでなりません。  
◆表紙絵は、江田智昭先生ご紹介  
の超覚寺様の門前をモデルとし  
ています。ただし、掲示板に記さ  
れた瓜生先生の言葉は、和田隆恩  
住職の直筆そのままです。(D)  
◆新型コロナウイルス感染拡大に  
より、いままで当たり前にあった寺  
院のあり方が大きく揺らいでいるよ  
うに思います。特に、伝道という  
面でいえば、本堂で一堂に会して  
共にお聴聞するスタイルから、オン  
ラインの活用スタイルへと転換が  
求められます。しかし、大事なこと  
はどの方途でも、み教えの本質を

伝えることだと、先生方に背中を  
強く押しもらえました。(J)

◆129号から清基秀紀先生に連載  
いただいた「せいてん茶道教室」  
が終了いたしました。茶道と本願  
寺の関わりに始まり、茶道の楽し  
み、想像力、おもてなし、型につ  
いて執筆いただきました。コロナ  
の感染拡大で心のゆとりを失いが  
ちな私に、季節の移ろいを感じる  
心や、相手を思いやるおもてなし  
の心の大切さを教えてくださいま  
した。(S)

◆特集では、伝道における新しい  
ツールの可能性を学ぶとともに、  
掲示板のような既存のものもつ  
大きなはたらきを再確認させてい  
ただきました。人と人をつなぐ  
言葉の力の大きさと温もり。本誌  
も読者の皆様にとってそんな存在  
であるために、これからも丁寧な  
編集を心がけて参りたいと思いま  
す。(R)

## |||||||||| 投稿募集 |||

◆本誌に対するご感想やご意見、  
聖典講座についてのご質問など、  
ふるってご投稿ください。皆様か  
らのお便りをお待ちしております。  
◆あて先は、「〒600-8501 浄土真  
宗本願寺派総合研究所 季刊せい  
てん編集室」とご明記ください。  
◆お送りいただきました原稿はお  
返しできません。◆掲載分には記  
念品をお送りいたします。

## 季刊せいてん

NO.132 令和2(2020)年9月1日発行

編 集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発 行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171

本誌記事の無断転載を禁じます。BD.04SH①09-02